



鷺宮卓話

多文化交流裏話

太田敬雄

2月21日、実に4時間に及ぶ「多文化交流オンライン 2021 ～ぐんま×マラン×釜山共催～」が実施されました。大成功でした！

最近の多文化交流では、研究所の職員で「まなばる」で働いている松原雄斗君がまとめてくれます。夏の多文化が終わって間もなく、彼は私の所に一つの案を持ってきてくれました。

控えめに「こんな事を考えたのですが、どうでしょうか？」と、松原君が見せてくれたのが下の図です。

(仮称) オンライン多文化交流

SETぐんまスタッフ×IIMS マラン支部(UB)×フサン実行委員会(のびのび)  
⇒⇒3つの共催という形で



私は「面白そう」と思いこの案を取り上げました。それぞれのスタッフが決まり、三団体の企画会議、全体の会議と全てがオンラインで進行。その様子を見ながら、私はやっとこの企画が画期的である事に気付かされました。

オンラインであれば地球規模で集まることが出来る。例えばIIMSで実施したオンラインのオムニバス講座ではアフリカ、ヨーロッパ、アジア、アメリカの人に講師をお願いしました。(こちらについては3頁参照) それ自体画期的でした。

しかし、主催者が複数国にまたがり、それぞれが企画を持ちより実施する多文化交流は、例を見ない先進的な取り組みだったのではないのでしょうか。世界中に広がったコロナ禍を千載一遇のチャンスとして立ち上げられたと言っても良い三者共催の多文化交流でした。

さらにもう一つ、大きな収穫はマラン、釜山、ぐんまの学生3団体がスタッフとして、実に三ヶ月に渡って一つのプログラムを立ち上げるためにオンラインで協議を続けたことでした。その会議自体が既に立派なオンライン多文化交流となりました。それは小さいけれども、平和を望み友達作りを進める「若者達の国際連合」でした。

総括代表を務めてくれた高草木美佑さんが、次ページに各スタッフグループ代表の声をまとめてくれています。ご一読ください。

会費とご寄付についてのお知らせ： IIMSは皆さまの会費・ご寄付に支えられて21年目を迎えます。昨年の総会で会員が正会員と賛助会員に分けられました。これまでの会員の皆様には「賛助会員」として今後ともIIMSの活動を支えていただければ幸いです。これまで通り「会費」として2,000円を振り込んでいただければ自動的に賛助会員となります。総会への参加義務は無くなりますが陪席は可能です。

正会員は「正会員費」と記し、3,000円をお振込みください。

ご寄付下さる方は通信欄に必ず「寄付」とお書き下さい。皆さま、2021年度もよろしく申し上げます。

# 多文化交流オンライン 2021

～ぐんま×マラン×プサン共催～ 2021.2.21 開催

Q 毎週対面での会議を行う  
多文化ぐんまとの違いは何ですか？  
ぐんま代表★群馬県立女子大学2年 高嶋桜子

私は今回の多文化交流オンライン以外にも昨年の2月に対面で、9月にオンラインで行った多文化交流 in ぐんまのスタッフを経験していました。ですが、今回は3カ国共催という新しい試みに挑戦したため、以前行っていた多文化交流 in ぐんまとは違う点もあり、難しく感じる時もありました。例えば、私達はぐんまスタッフだけのミーティングと、3カ国が集まる全体ミーティングを交互に毎週行っていました。オンラインでのミーティングは対面で行っていた時より話し合いを進めるのが難しく、実際に会って話していたらスムーズに出来ていたことが出来ないのがもどかしかったです。また、全体ミーティングでは外国人のスタッフもいるため、より伝わりやすい日本語で話すことや、早口にならないようにするなど、意識することが多く慣れるまで難しかったです。こうしたオンラインや共催ならではの大変な面もありましたが、共催だからこそできたこともあります。特に企画は普段よりさらに中身の濃いものになったと思います。当日は企画の時間を3つに分け、それぞれの国で割り当てられた時間の中でスタッフが作った地域紹介の動画やゲームなどを行いました。ゲームの内容に国の文化や言葉に関するものがあったり、動画は各国で行っている多文化交流の様子、有名な観光地や食べ物を紹介するなど、企画を通してその国のことを知る充実した時間になりました。当日を終えて改めて、今回の企画はぐんまだけではできない、3カ国共催だからこそできる素晴らしい内容だったと思いました。

Q 3カ国共催での開催、全体を通して考えたことや感じたことを教えてください！  
全体統括代表★群馬県立女子大学3年 高草木美佑

3カ国での共催。最初はとても不安がありましたが、『それぞれの国の良さを残しつつ、3カ国のスタッフ全員で一つのチームになるには…』ということのを常に考えていました。行き違いが生じないように、常に各国のリーダーと密に連絡を取り合い、ひとりひとりの意見を取り入れるように心がけました。オンラインでのミーティングでは、全員が同時に発言できないので、スタッフにはジェスチャーで“OK!”のサインで反応してもらっていましたが、次第にサインをすることが当たり前になり、ひとりひとりが受け身ではなく積極的にミーティングに参加してくれました。交流会当日は、スタッフ、そして全体代表でありながらも、1人の参加者として楽しむことができました。想定していた多少の通信トラブルはありましたが、スタッフの丁寧な準備のおかげで無事に交流会を終えることができました。44人が、年齢や性別、国籍に関係なくそれぞれの家から参加し、交流を深め、スタッフも参加者も、1度も直接会わずに1つのイベントを作り上げました。これは決して簡単なことではありませんでしたが、昨年感じたオンライン交流への可能性を、さらに広げることができたと思います。私は、交流会の最後の挨拶で、共催について話をすることを忘れ、後悔していたのですが、『“共催”であることが当たり前になっていて18人が一つになれていたということか!』だとスタッフに声をかけてもらい、『あ、そういうことか!』とスツと腑に落ち、納得できました。そのことが素直にとっても嬉しかったです。直接交流ができないのはもどかしく、残念ですが、だからこそ今回の3カ国共催でのオンライン交流を開催することができました。このような状況でも友達の輪を広げる“きっかけ”となる交流の場を絶やすことなく提供できたことを嬉しく思うとともに、ご支援くださった皆様に心より感謝申し上げます。

Q “3カ国共催”はどうでしたか？  
IMS スタッフ 松原雄斗

昨年の多文化ぐんまをオンラインで準備している時から『コロナでいつもの多文化が出来ない悔しさはどこにいても同じ』という思いがありました。各地の多文化交流それぞれの良さ・雰囲気はありますが「企画段階から国をまたいでもっと一緒につくれたら」という漠然とした考えもずっと頭にあり、世界中のコロナ過とオンラインシステムを“きっかけ”に3ヶ国18人のスタッフによる初の共催多文化交流を実施できました。想いは変わらずとも、初めてがたっさん。時差・全員別の場所・それぞれが今まで培ってきたやり方や考え方…大変な時もありました。と、この文章を書きながらふと振り返ると「思っていたほど大変ではなかったかも」という感覚もあります。もちろん、実際に企画を考える学生、日本語が母語ではない学生、そもそも全てがオンライン…みんな大変な事はありましたが、ミーティングを始めた時から全員が前向きに「成功に向けて進む同じ気持ち」をしっかりと持っていたのだと思いました。それでも始めは個の集まりだった18人が共にする時間が増え、仲間になっていき、最後はスタッフだけではなく参加者も含めた44人が一つの雰囲気になれたと感じています。新しいかたちの“きっかけづくり”に少しでも貢献できていれば嬉しいです。

## 多文化交流オンライン2021スタッフ



Q 一年ぶりの多文化交流の企画をしてどうでしたか？  
プサン代表★釜山外国語大学3年 スミン

1年ぶりに企画する多文化交流がオンラインだったので心配でもあり、期待もありました。今回の交流会で大変だったことは、オンライン交流というテーマに合ったゲームを企画することでした。従来の企画とは異なり、インターネットという限られた空間で皆が共感して楽しめるゲームを用意するのが大変でした。いつもはプサンの有名な海で遊んだり、最近プサンで流行っている食べ物を食べたり、日本と違う韓国、プサンだけで楽しめるおもしろいポイントを主にして企画を行ってきました。そのため、韓国文化についてよく知らなくても、直接的な経験を通して自然に韓国文化について知らせることができました。しかしオンラインという制限的な問題でどうすればプサンに対して知らせる楽しい交流ができるかたくさん悩みました。なので、全ての人々が共感できるゲームを作るために、今世界中で流行っているK-popや、今後プサンに来た時に楽しめるようにプサンの観光地について内容を含めて企画することになりました。オンラインは大変でしたが、オンラインだからできることが多かったのです。韓国の新学期開始とマランの多文化交流の時期がいつも重なって多文化マランに参加することが大変でしたが、オンラインだからこそ今回一緒に準備することができ、オンラインだからこそより多様な国の人々が参加してくれて楽しかったです。このようにオンラインだからこそ意思疎通や色々大変でしたが、オンラインだからこそ可能なことが多くてむしろ良かったし楽しかったです。

Q オンライン交流参加者とスタッフの違いは何ですか？  
マラン代表★ブラヴィジヤ大学4年 マリファ

9月にオンラインの多文化交流に参加したときすごく面白かったです。最初は皆と話すのがすごく緊張していましたが、でも色々な国の人と日本語で話すのが不思議で、まるで日本語が私たちのLingua Francaみたいな感じで、本当に楽しい交流会でした。又、2月の多文化交流オンラインでスタッフとして他の国の皆と一緒に企画を立てるのがすごくドキドキして、オンラインでしか得られない経験もたくさんできて、将来の楽しい思い出にもなりそうです。多文化交流オンラインがあるのは本当によかったと思います。

オンラインで

# オムニバス講座

テーマ 私の住む世界

講師

- 11/18 太田敬雄(日本)
- 12/2 堀越千沙(スペイン)
- 12/16 朝倉奈緒美(アメリカ)
- 1/13 齊木隆太郎(スーダン)
- 1/28 入澤京子(イスラエル)
- 2/10 菅ヶ谷マコ(インドネシア)

入澤京子さん (イスラエル)

- コンテンポラリーダンスの聖地
- ユダヤ教には正統派や保守派、超正統派などがあり、装いも違う
- 男性、女性、兵役がある



太田敬雄さん (日本)

- 父がアメリカに留学していたので、アメリカ文化とのふれあいを経験してきた
- アメリカの大学卒業後にオハイオ州のスラム街で教師として働いた
- 教えない教育を志してきた
- 自分が当たり前だと思わない、違いを受け入れる



齊木隆太郎さん (スーダン)

- 元々、イギリスの植民地
- 多民族国家
- 犠牲祭で羊をさばき、三分の一は貧しい人へ配る
- 胡麻はスーダン発祥
- アラビアゴムの樹液を乾燥させて粉末にし、食品添加物(乳化剤や増粘剤など)としてアイスやガムシロップに入っている。コーティング剤としてのりやインクにも。「アラビックヤマトのり」の命名はここから

堀越千沙さん (スペイン)

- カタロニア地方は言語が4つで、他に公用語はスペイン語
- 独特な言語と文化の寄せ合いでスペインになっている(パッチワークみたい)
- 世界遺産になった地中海料理・食事は一日5回に分ける
- 日本でいう高校のシステムがなく、義務教育は6歳~16歳。2年間の大学準備を経て大学へ進学。



菅ヶ谷マコさん (インドネシア)

- 多民族国家
- 母語がバラバラだけど共通語がある
- 時間や空間の境目が曖昧
- 死が身近(良い死後を迎える為に、自分の死を意識しながら生きている)



朝倉奈緒美さん (アメリカ)

- 人種のサラダボール(混ざって生きている)感覚を知りたかった
- 皆が知っていると思って話をするのはタブーだと感じる。(宗教によって言葉がけの論争が起こる事がある)



渋谷和代 (今回の Zoom 講座の立役者・ただ一人の経験者でした)

世界各地で生活している講師の方々から見た『私の住む世界』そして外から見た日本。貴重な時間を共有させていただけて幸せです。

荒井美里 オンラインでの新しいチャレンジに、画面を覗きこみながら、冷や汗かきながら、次はこうしてみたらいいかも、…など試行錯誤とステップアップしながらの、スタッフとしても学び多い6回でした。

狩野真由美 ZOOM を使ったことがなかった私にとって、ZOOM で世界各地に住む方々とつながる時間はとても新鮮でした！第2弾が今から楽しみです！

小高博恵 スタッフとして参加そして、司会の体験をさせて頂いた感想です。まず感動したのは、目の前の画面に国境も関係なくうつる参加者の姿です。そして、画面を通して全員で意見交換ができてしまうって事に改めて「なんて良い時代になったのだろう」なんて思っていました。

改めて、講師の皆様に御礼申し上げます。皆さまのお陰で地球規模のオムニバス講座になりました。

ほんの一部ですが・・・  
スタッフの声 から

## 正会員の皆様へ 総会のご案内

日時：2021年5月29日14時～15時

今年の総会はオンラインでの開催となります。出欠はメールでご連絡下さいますようお願いいたします。

議題：事業報告、会計報告、事業計画、予算、その他

**ご寄付のお願い**：新型コロナウイルスは国際交流をはじめとした IIMS の多くの活動に影響を与えております。今も苦しい状況に置かれていることには変わりありませんが、「月 500 円」というクレジットカードによるご寄付を選択して下さる方も少しずつ増えています。感謝です。（自動決済はいつでも停止可能です。）さらに活動を支えて下さる方が増えることを願っています。

### 会費のお支払い・ご寄付は「クレジットカード」または「郵便振替」で！

#### 【クレジットカードの手続き】



左記 QR コード、もしくは下記 URL からアクセスして頂き手続き・ご登録ください。  
アクセス先のページから「会費の支払い」と「ご寄付」に分かれておりますので、それぞれのページへ進んで頂き、手続きをお願い致します。

(<http://www8.wind.ne.jp/mthc/iims-cardannai>)

#### 【郵便振替】

下記口座にお振込み下さい。

●加入者名：国際比較文化研究所

●口座番号：（普通）00510-0-61974

※ゆうちょ銀行から振込可能な口座です。

※通信欄に「会費」または「寄付」とご記入ください。

会費・寄付＜敬称略・順不同＞（2020/11/29～21/3/10）、カードは2月末まで

会費並びにたくさんのご寄付を有難うございます。皆様に支えられて、国際比較文化研究所は今後とも「平和な地球社会の実現」に向けての諸活動に邁進して参ります。

会費（20年度分）：村田元、増山律子、前田浩、坪井教由、太田玲子、太田琢雄、太田敬雄、

賛助会費（21年度分）：森泉寿義雄、森泉孝行、李孟蓉、太田玲子、

寄付：内野春香（毎月）、藤本恵大（毎月）片岡謙（毎月）、根岸大輔（毎月）、田村珠里（毎月）、Rosdiana Febriyanti（毎月）、福崎結子（毎月）、福崎結子（オムニバス）、イエスの友会、村井田和夫、丸山武子、植原 efa 映子（クリスマス献金）、黒滝明美、村田元、永田強一、松原雄斗（多文化オンライン）、平林里衣（多文化交流）、坂田くるみ（多文化オンライン）、前田浩、樋本達之（毎月）、高草木佐代（多文化オンライン）、高草木繁（多文化オンライン）、横井宏行（多文化オンライン）

\*注：（毎月）はカード振り込みによる毎月のご寄付です。

**編集後記**：◎経費削減のため、先号からニューズレターのメール送信を開始しています。皆様のご協力に感謝です。メール配信をご希望の方はご連絡下さい。totatakao.iims@gmail.com  
◎コロナ騒動はまだ続きそうですが、それを又と無いチャンスとして活動を広げています。  
◎世界の人々が違いを受け入れ合いながら友達になることを夢見て IIMS の活動を続けています。  
◎若い人が担当すると文字が小さくなります。歳を感じています！（敬）

**発行**：特定非営利活動法人国際比較文化研究所  
**事務所**：379-0124 群馬県安中市鷺宮 3413-3  
**電話**：027-382-5998 FAX:027-382-6393  
**研究所ホームページ**：<http://www8.wind.ne.jp/mthc>  
**メールアドレス**：totatakao.iims@gmail.com  
**まなばる**：<http://manapal.gunmablog.net/e80854.html>  
**メールアドレス**：mail@manapal.jp  
**郵便振替口座**：加入者名 国際比較文化研究所  
口座番号 00510-1-61974